

令和2年6月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,503	91,458	91,400	91,475	58	△ 17
2 調定水量	m ³	658,248	1,962,244	1,935,400	1,954,764	26,844	7,480
3 調定料金(税抜)	円	176,306,406	527,261,859	519,000,000	523,149,012	8,261,859	4,112,847
4 口振加入件数	件	25,156	75,323	—	75,530	—	△ 207

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,248	54,855	54,860	53,882	△ 5	973
6 調定水量	m ³	391,819	1,175,967	1,138,200	1,140,279	37,767	35,688
7 調定料金(税抜)	円	61,618,448	185,559,683	178,863,000	180,102,107	6,696,683	5,457,576

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	77,435	—	78,815	△ 1,380
9 給水件数	件	30,332	—	30,306	26
10 開栓処理件数	件	206	949	941	8
11 閉栓処理件数	件	233	765	799	△ 34
12 給水工事設計審査	件	55	206	233	△ 27
13 給水工事竣工検査	件	70	218	212	6
14 経年メーター交換	件	740	1,591	1,924	△ 333
15 メーター口径変更	件	4	11	18	△ 7
16 月末停止件数	件	△ 1	104	113	△ 9

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
17 排水設備工事確認申請	件	28	116	159	△ 43
18 排水設備工事完了検査	件	28	91	119	△ 28

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
19 当年度分	201,631,778円	65.24%	200,981,524円	64.43%
20 過年度分	5,686,863円	97.02%	5,511,790円	97.09%
21 計	207,318,641円	-	206,493,314円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
22 当年度分	79,551,030円	61.02%	80,990,507円	58.35%
23 過年度分	1,648,038円	97.86%	1,775,406円	97.58%
24 計	81,199,068円	-	82,765,913円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
25 当年度分	0円	-	0円	-
26 過年度分	3,048,500円	7.69%	3,955,430円	3.67%
27 計	3,048,500円	-	3,955,430円	-

8 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
入札件数	13	13 / 49	10	10 / 20	3	3 / 10	0	0 / 3	0	0 / 16	0	0 / 0
契約締結	一般	4	5	4	5	0	0	0	0	0	0	0
	指名	9	36	6	15	3	10	0	1	0	10	0
	随契	0	8	0	0	0	0	0	2	0	6	0
	合計	13	49	10	20	3	10	0	3	0	16	0

《中止 当月 1件/累計 1件》《不調 当月 0件/累計 0件》《取消 当月 1件/累計 1件》《未契約 0件》

1. 6月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業
ア 収益的収支

当期の給水収益は176,306千円(税抜)で、前月期に比べて6,676千円の減で、対前年同月比では768千円の増となり、営業収益は194,556千円、営業外収益は事務手数料4,867千円を含む4,940千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や業務委託料など89,221千円、特別損失は37千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,166千円のみ執行となっています。

支出は、事務費7,699千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,014千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は61,618千円(税抜)で、前月期に比べて2,363千円の減で、対前年同月比では1,277千円の増となっています。営業収益は67,860千円、営業外収益は雑収入1千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や業務委託料など73,553千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入はありませんでした。

支出は、職員給与費などを含む5,941千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会6月定期議会について

令和2年登米市議会定例会6月定期議会が6月4日(木)から16日(火)までの日程で開催されました。上下水道部では令和元年度水道事業会計予算の繰越計算書について報告及び下水道事業特別会計予算の繰越計算書の報告を行いました。内容は、水道事業会計では、工事11件の繰越、下水道事業特別会計では3件を繰越したものです。

(2) 令和元年度決算審査について

6月24日(水)に令和元年度決算審査が行われました。主要事業と決算の概要について説明を行い、決算内容について経営成績は概ね良好である。また、上水道事業及び下水道事業が組織統合した成果に期待するとともに、今後更に創意工夫に努めてほしいのと講評をいただきました。

(3) メーター交換業務を実施しています

水道メーターは、計量法の規定により検定有効期間(使用期間)が8年と定められているため、検定有効期間が満了になる前に取替え、適正な計量ができるようにしています。

登米市では、水道メーターが7年経過したものを対象に料金徴収・給水装置管理等業務委託業者において、水道料金の基となる正確な水道使用量を検針するため、年間4,200件ほど交換作業を実施しています。



(メーター交換を行っている様子)

令和2年6月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	824,259	2,443,553	2,382,050	2,459,145	61,503	△ 15,592
総配水量	759,344	2,273,281	2,217,920	2,286,166	55,361	△ 12,885
1 有効水量	711,414	2,118,302	2,100,060	2,106,326	18,242	11,976
(1) 有収水量	662,666	1,975,485	1,952,000	1,968,411	23,485	7,074
(2) 無収水量	48,748	142,817	148,060	137,915	△ 5,243	4,902
2 無効水量	47,930	154,979	117,860	179,840	37,119	△ 24,861
(1) 漏水量	47,778	154,563	116,000	179,219	38,563	△ 24,656
(2) その他無効水量	152	416	1,860	621	△ 1,444	△ 205
3 有収率	87.27%	86.90%	88.01%	86.10%	-1.11%	0.80%

※ 当月期の最大配水量は、12日（日）に記録した【26,868m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	6,160	0	0	0	0	6,160	0.0%
浄水施設整備事業	10	40,370	0	0	0	0	40,370	0.0%
配給水施設整備事業	60	1,165,720	18	94,243	0	43,933	1,027,544	11.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 保呂羽浄水場沈殿池清掃作業実施

6月3日（水）保呂羽浄水場において、登米市水道事業浄水施設等管理運営業務受託者（明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体）により、1号沈殿池の清掃作業を行いました。この作業は、沈殿池に汚泥が過剰に堆積すると、薬品による凝集沈殿効果の阻害等浄水処理に影響を及ぼすことから定期的に清掃を行うものです。なお、2号沈殿池は10日（水）に3号沈殿池は17日（水）にそれぞれ清掃作業を行いました。



【1号沈殿池清掃作業状況】

2 基幹管路水道3号線漏水事故発生

6月23日（火）未明、中田町石森字駒牽地内において、基幹管路の水道3号線（ダクタイル鋳鉄管 口径 250mm）で漏水事故が発生しました。この管路は、昭和52年に布設したもので43年が経過し、埋設土壌や地下水を起因とする管体腐食（穴あき）による漏水でした。復旧は、仕切弁操作により断水影響範囲（断水戸数28戸）の縮小を図り、袋ジョイント施工にて午前11時に完了しました。なお、この路線は今年度更新を予定しております。



【漏水箇所（穴あき）状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	1	0.600
	付属施設	0	0.000
	給水装置	15	10.007
	計	16	10.607

【漏水調査結果：4月～6月（累計）】
 ※参考：漏水量削減効果（金額換算）
 約70,996円/日当たり
 算定：R1年度給水原価 278.89円
 累計漏水量 10.607m³/h
 10.607m³/h×24h×278.89円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	52,684	163,289	155,199	8,090	3 処理場
米谷・錦織処理区	12,047	37,196	36,383	813	
豊里処理区	28,830	88,906	82,694	6,212	
津山処理区	11,807	37,187	36,122	1,065	
流域関連特定環境保全公共下水道	12,131	41,172	36,356	4,816	
農業集落排水	104,482	333,190	350,026	△ 16,836	24 処理場
迫地区	8,674	26,700	27,234	△ 534	
東和地区	2,937	9,191	8,514	677	
中田地区	26,683	88,847	93,904	△ 5,057	
豊里地区	2,012	6,300	6,226	74	
米山地区	44,497	145,330	153,389	△ 8,059	
南方地区	19,679	56,822	60,759	△ 3,937	
浄化槽（特地・個排）	40,522	122,737	113,114	9,623	1,805 基
合計	471,397	1,443,886	1,470,320	△ 26,434	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	641,085	1	9,878	0	5,814	625,393	2.4%
処理施設整備事業	6	382,021	1	6,710	0	3,118	372,193	2.6%
浄化槽整備事業	80	124,382	26	28,243	0	1,682	94,457	24.1%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 浄化槽設置工事及び汚水管渠工事着手

6月期、迫地区など7地区において、浄化槽設置工事26件を着手しました。この工事は、浄化槽5人槽12件、7人槽12件及び10人槽2件を設置するもので、工事期間は約2カ月間を予定しています。また、中田町石森地区において、汚水管渠築造工事を着手しました。この工事は、下水道の管路（施工延長144m）を整備するもので、令和2年9月工事完了を予定しています。



【浄化槽設置工事状況】

2 令和元年度繰越事業災害復旧工事完了

令和元年度繰越事業の津山浄化センター及び横山第5マンホールポンプ場の災害復旧工事が6月30日に完了しました。昨年10月の令和元年東日本台風による豪雨で、津山浄化センターは山からの流水で敷地法面が崩れ、また横山第5マンホールポンプ場は冠水により制御盤が破損したため、国の補助を受け災害復旧工事を行いました。

○受付状況（6月末現在）

予定件数	受付件数	残件数
80	40	40